

7. 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病、紋枯病 ウンカ類、コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	緑化期 ～移植当日	1回	育苗箱の苗の上から均一に散布する。
	白葉枯病、もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネドロオイムシ イネミズゾウムシ イネヒメハモグリバエ イネクロカメムシ イネアザミウマ		移植3日前～ 移植当日		
	いもち病、紋枯病 白葉枯病、もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ウンカ類 イネツトムシ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ イネヒメハモグリバエ イネクロカメムシ イネアザミウマ コブノメイガ ニカメイチュウ	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50～100g)			

フィプロニルを含む農薬の総使用回数	チフルザミドを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(移植時までの処理は1回以内)